

あきは 区役所だより

里山と水に囲まれて 花と緑あふれる 笑顔咲きそろうまち

2026年(令和8年)

2月1日

第452号

毎月第1・3日曜日発行

区の人口

人 口: 73,239 人 (-70)
男: 35,280 人 (-21)
女: 37,959 人 (-49)
世帯数: 31,177 世帯 (-17)
令和7年12月末現在 (カッコ内は前月比、住民基本台帳による)

編集・発行 新潟市秋葉区役所 (制作:地域総務課) 〒956-8601 新潟市秋葉区程島2009番地

電話 0250-23-1000 (代表)

小合中学校



小合東小学校



こどもと秋葉区長で 地域の未来を語る会

秋葉区では「こども真ん中のまちづくり」の実現に向けて、学校と地域が協力して活動に取り組んでいます。この活動の一環として、区長が区内の小・中学校のこどもたちと地域の未来について語る会を毎年開催しています。

今号では、今年度開催した会の様子を紹介します。



新津第一中学校



金津中学校



荻川小学校

内容紹介

総合的な学習の時間の中で、地域の魅力を調べていくための導入として区長の講演を聞いたり、地域の現状や課題を踏まえ、こうなってほしいという思いをまとめた提言をこどもたちから区長へプレゼンしたり、他にもキャリア講演会の講師として区長の経歴の紹介や区長へのインタビュー活動など、学校ごとにさまざまななかたちで開催されています。



新津第一小学校では、区長が秋葉区の特徴や歴史、現状の課題などを講演しました。それを受けた児童からはたくさんの解決策や提案が発表されました。



新津第五中学校では、3年生社会科の授業のまとめの一環として、生徒の代表が区長室を訪問し、「秋葉区を盛り上げたい」という思いを熱弁しました。

区長に直接! 質問タイム



会の中では、多くの学校で区長に直接質問できる時間を設けています。素朴な疑問や地域の未来を真剣に考えての質問が、こどもたちの言葉で投げ掛けられます。こどもたちからは「直接聞いてみたかったことが聞けた」「もっともっと秋葉区を知りたくなった」「今後の総合的な学習の時間に生かしていきたい」などさまざまな感想が出していました。

区長になった
きっかけは何ですか?
どうしたら区長になれますか?

商店街を
もっと盛り上げるには
どうしたらいいですか?

人口減少の対策として、
こんなお店や企業は
秋葉区に誘致できますか?

地域の伝統を
残していくためには
どうしたら良いですか?

こどもたちから出された提言



課題1
「秋葉区の魅力についてのポスター
一が少ない」



令和7年度の開催実績と開催予定

| | | | |
|-------|---------|-------|---------|
| 6/ 6 | 新津第一中学校 | 11/21 | 荻川小学校 |
| 9/ 9 | 新津第一小学校 | 12/17 | 小合中学校 |
| 10/28 | 金津中学校 | 1/29 | 小須戸小学校 |
| 11/ 6 | 小合東小学校 | 2/13 | 新津第三小学校 |
| 11/20 | 新津第五中学校 | 3/ 2 | 金津小学校 |